

早期景気観測調査

【8-9月期 調査結果概要報告書】

令和2年10月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和2年9月15日(火)～9月30日(水)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 91件
7. 有効回答率： 68.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8-9 月期の動き】

全体業況は▲69.2と依然として低い結果となったが、2期連続で改善となった。向こう3ヶ月の業況は改善の見通しだが、実態はほぼ横ばい。

8-9 月期の全業種総合の業況DIは、▲69.2（前期比4.7ポイント）と値としては低い結果だったが、2期連続で改善となった。

向こう3ヶ月の先行き業況も、改善する見通し。ただし、悪化から不変への変化が主因なため、実態はほぼ横ばい。

業種別では、卸売業、建設業、サービス業が改善、製造業、小売業が悪化となった。

製造業の業況DIは▲55.0（前期比▲2.4ポイント）と悪化となった。

○改善⇒仕入単価DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

建設業の業況DIは▲50.0（前期比18.8ポイント）と改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI ○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは▲84.2（前期比10.8ポイント）と改善となった。

○改善⇒売上DI、従業員DI ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況DIは▲69.6（前期比▲12.5ポイント）と悪化となった。

○改善⇒採算DI、従業員DI ○悪化⇒売上DI、仕入単価DI、金融貸出しDI

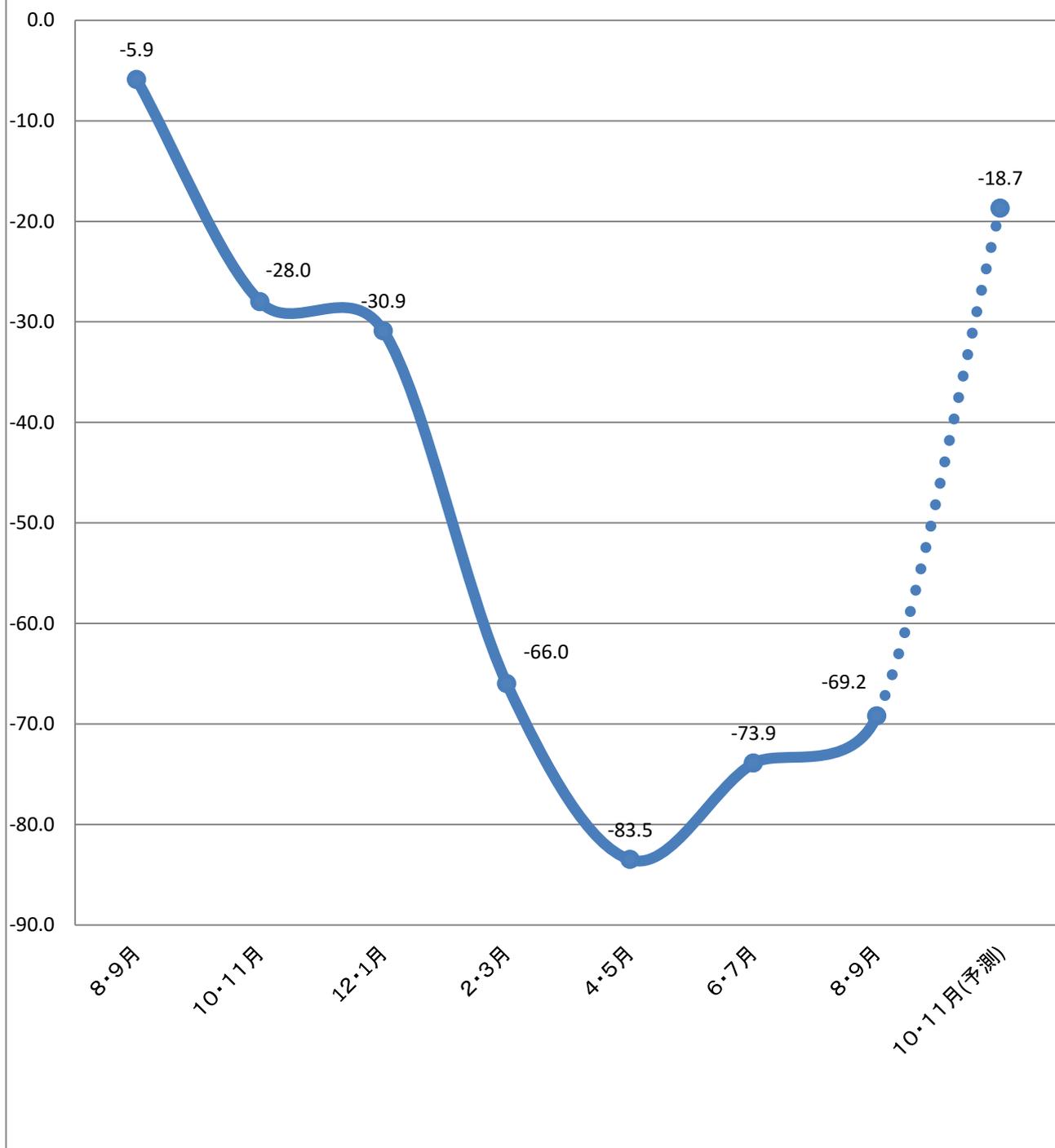
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは▲92.3（前期比7.7ポイント）と改善となった。

○売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI、金融貸出しDIの全てが改善

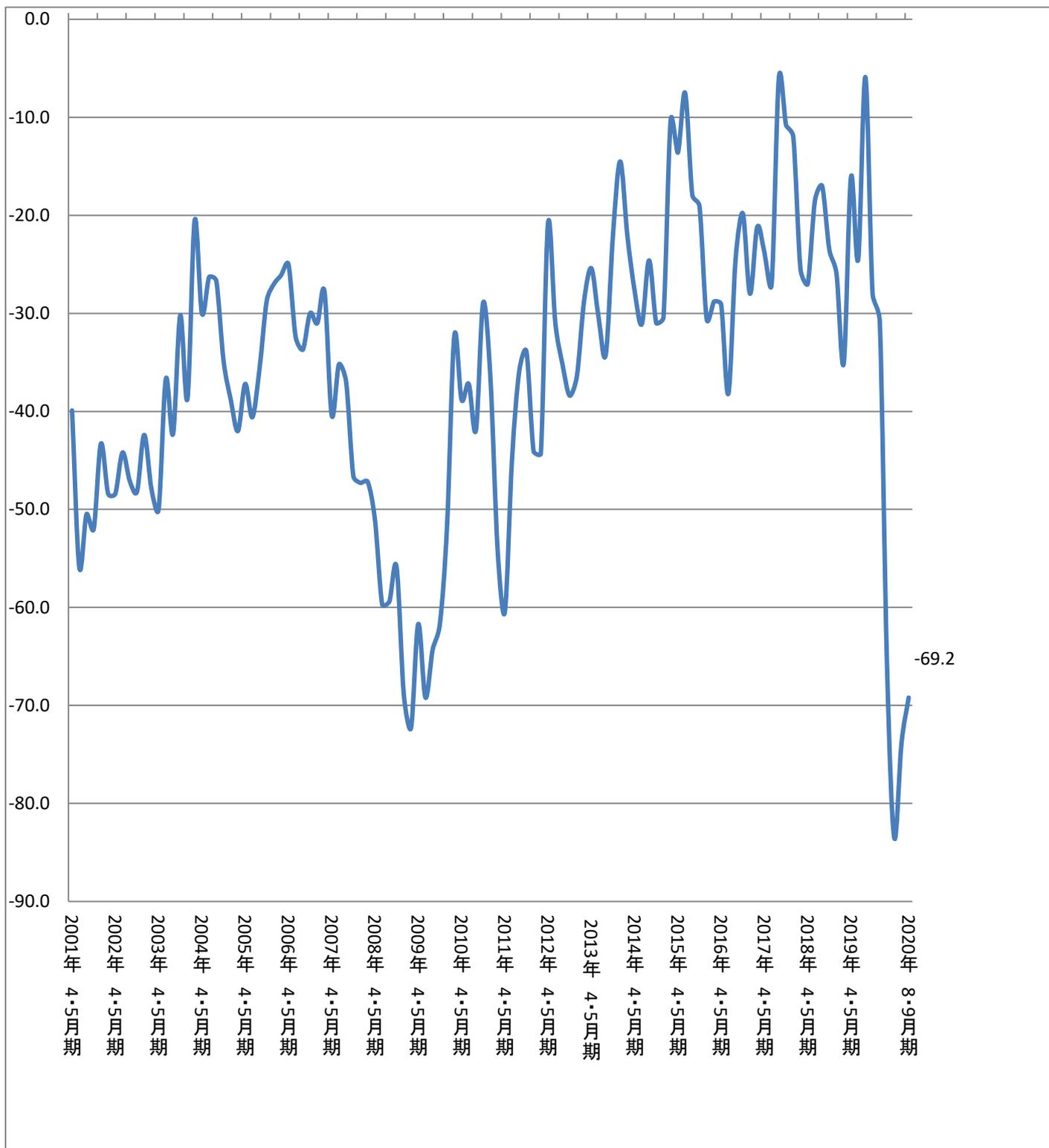
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業況DIの推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2020年8・9月期)

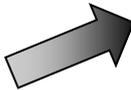
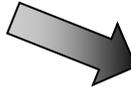


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

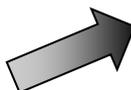
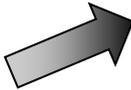
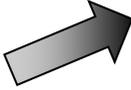
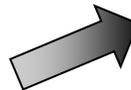
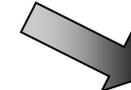
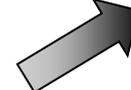
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↘」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲69. 2	▲18. 7	▲67. 0	▲62. 6	▲26. 4	▲2. 2	8. 8

8－9月期の全業種総合の業況D I は、▲69. 2（前期比4. 7ポイント）と2期連続の改善となったが、前期同様業況D I の値は依然として低い結果となった。

項目別

○2期連続改善⇒売上D I（▲71. 7→▲67. 0）、採算D I（▲69. 6→▲62. 6）、
従業員D I（▲9. 8→▲2. 2）

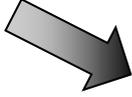
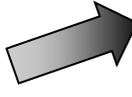
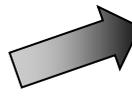
○2期連続悪化⇒金融貸出しD I（10. 9→8. 8）

○3期連続悪化⇒仕入単価D I（▲23. 9→▲26. 4）

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲18. 7と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲55.0	0.0	▲60.0	▲50.0	▲20.0	▲15.0	0.0

業況D Iは▲55.0（前期比▲2.4ポイント）と悪化となった。

項目別

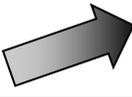
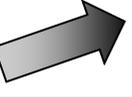
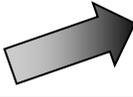
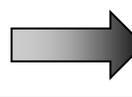
○2期連続改善⇒仕入単価D I（▲26.3→▲20.0）

○今期より悪化⇒売上D I（▲52.6→▲60.0）、採算D I（▲42.1→▲50.0）、
従業員D I（▲10.5→▲15.0）

○2期連続悪化⇒金融貸出しD I（10.5→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、0.0と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲50.0	▲25.0	▲43.8	▲43.8	▲18.8	25.0	6.3

業況D Iは▲50.0（前期比18.8ポイント）と改善となった。

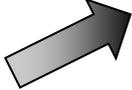
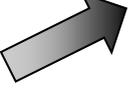
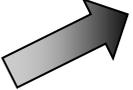
項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲62.5→▲43.8）、採算D I（▲75.0→▲43.8）、
仕入単価D I（▲31.3→▲18.8）、従業員D I（12.5→25.0）

○今期より横ばい⇒金融貸出しD I（6.3→6.3）

向こう3ヶ月の業況は、▲25.0と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲84. 2	▲36. 8	▲73. 7	▲84. 2	▲42. 1	5. 3	15. 8

業況D Iは▲84. 2（前期比10. 8ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒売上D I（▲90. 0→▲73. 7）、従業員D I（0. 0→5. 3）

○今期より悪化⇒採算D I（▲80. 0→▲84. 2）、金融貸出しD I（20. 0→15. 8）

○2期連続悪化⇒仕入単価D I（▲20. 0→▲42. 1）

向こう3ヶ月の業況は、▲36. 8と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲69. 6	4. 3	▲73. 9	▲56. 5	▲30. 4	0. 0	4. 3

業況D Iは、▲69. 6（前期比▲12. 5ポイント）と悪化となった。

項目別

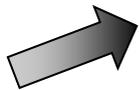
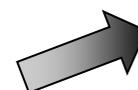
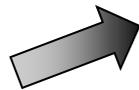
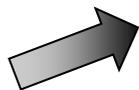
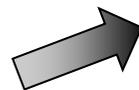
○2期連続改善⇒採算D I（▲57. 1→▲56. 5）、従業員D I（▲4. 8→0. 0）

○今期より悪化⇒売上D I（▲57. 1→▲73. 9）、金融貸出しD I（9. 5→4. 3）

○2期連続悪化⇒仕入単価D I（▲19. 0→▲30. 4）

向こう3ヶ月の業況は、4. 3と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲92.3	▲53.8	▲84.6	▲84.6	▲15.4	▲30.8	23.1

業況D Iは▲92.3（前期比7.7ポイント）と悪化となった。

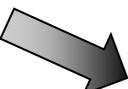
項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲100.0→▲84.6）、採算D I（▲100.0→▲84.6）、
仕入単価D I（▲25.0→▲15.4）、従業員D I（▲50.0→▲30.8）、
金融貸出しD I（6.3→23.1）

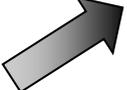
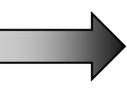
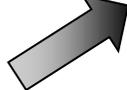
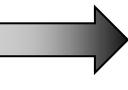
向こう3ヶ月の業況は、▲53.8と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

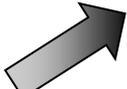
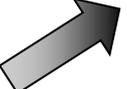
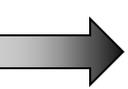
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

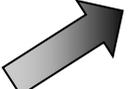
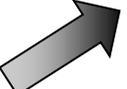
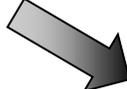
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

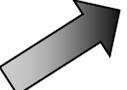
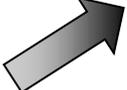
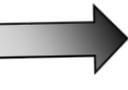
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

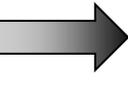
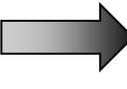
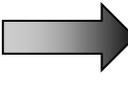
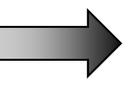
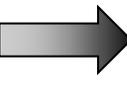
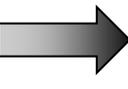
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

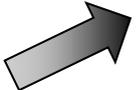
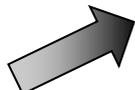
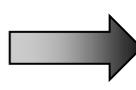
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

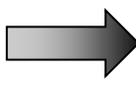
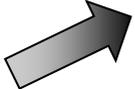
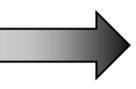
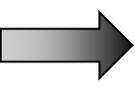
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

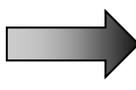
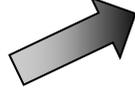
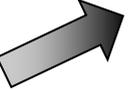
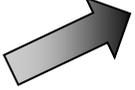
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

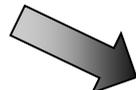
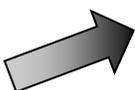
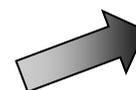
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

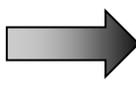
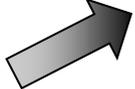
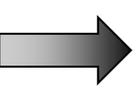
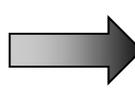
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

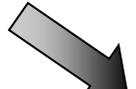
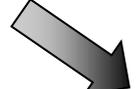
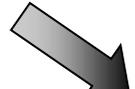
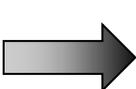
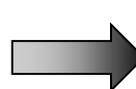
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

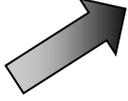
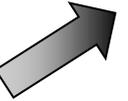
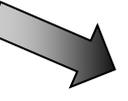
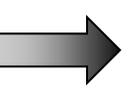
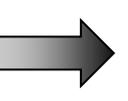
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

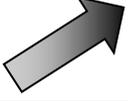
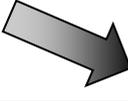
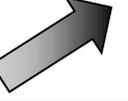
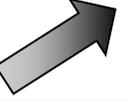
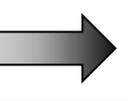
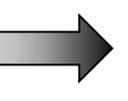
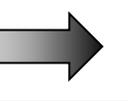
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

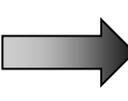
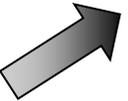
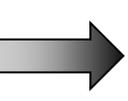
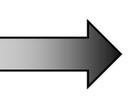
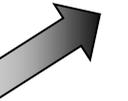
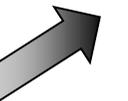
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

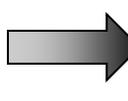
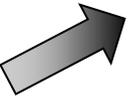
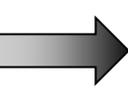
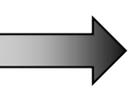
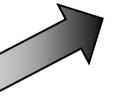
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・年末の需要があるため今後は上昇の見通しだが、8月以降は新型コロナの影響がさらに強まった印象を受けており、特にプライダルや観光関係は厳しい状況が続いている。

製造業（工業）

- ・回復はしているが、前年と比べると売上、採算ともに悪化傾向。

製造業（ニット）

- ・人の移動制限は緩和されたが、消費者の購買意欲は慎重で、客単価が伸びない状況が続いている。

製造業（宝飾）

- ・延期となっていたイベントや展示会が再開されだしている一方、いまだに開催ができないイベントなども多いため、先が見えない状況が続いている。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・行政の取り組みによる観光客などの増加から、ガソリン需要やレンタカー利用の増加などに期待したい。

【建設業】

建設業（建築）

- ・現状は変わらないが、先行き不透明感は拡大している。

建設業（土木）

- ・技術者や責任感のある社員が不足しており、この厳しい状況を乗り越えていくことが難しい。

建設業（鉄鋼）

- ・公共事業予算が削られていくことが懸念される。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・昨年度は消費税増税前の駆け込みなどもあり、売上が高かったため前年と比較すると大きく減少している。

小売業（食料品）

- ・以前よりは人が移動しやすい条件が整ってきているので、状況は少しずつ好転してくると思われる。

小売業（事務用品）

- ・徐々に良くなっており、新型コロナの第3波は来なければ回復する見通し。

小売業（趣味・日用品）

- ・コロナ慣れによる今までの反動で8・9月は売り上げがいいが、まだまだ縮小傾向。行政の取り組みが売上アップにつながることに期待したい。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・とても厳しい状況が続いていたが、徐々に日帰り客が増え、9月の連休では久しぶりに宿泊で満室となるなど、好転してきている。このまま上昇傾向が続くことを期待したい。

サービス業（観光）

- ・Go to トラベルがスタートし個人客は増えたが、団体客が全く増えず、厳しい状況が続いている。
- ・Go to キャンペーンが始まったが、ほとんどの観光客が自家用車で出かけるため、バスなどには影響が少ない。

サービス業（飲食その他）

- ・これ以上新型コロナの影響が続くと、多くの飲食店が廃業に追い込まれると予想される。10月より始まるGo to イートに期待したい。

以上